

わかぐさ

W A K A K U S A

伸びよう伸ばそう青少年 ～心豊かな青少年を育てるために～



〈題名〉まぼろしの大木 江戸崎小学校 4年 貝塚 瑠蒼 さん



発行 青少年育成稲敷市民会議

事務局 稲敷市教育委員会

生涯学習課内

TEL 029-892-2000(代)

会員数 6,907世帯(令和7年9月現在)

こどもを しっかりと見つめ 心豊かに



青少年育成稲敷市民会議会長

和田 克典

地域のみなさまとの「コミュニケーション」を

市民の皆様には、日頃より、青少年健全育成をはじめとする本会の事業に多大なるご理解とご協力を賜りまして、心から感謝を申し上げます。

今年度も、7月1・2・3日に市内の4つの小学校において、「あいさつ運動」を実施し、延べ300名近くの皆さんに参加していただきました。小学校では、スクールバスで登校する子どもが多くなり、子どもと地域の皆さんが「おはようございます」と元気に声を掛け合い、コミュニケーションをしっかりと取る大切さを感じました。

7月12日(土)には、映画「野生の島のロズ」が午前と午後の2回にわたって、江戸崎中央公民館で上映されました。この作品は、無人島で起動した最新型アシスト・ロボットに愛情が芽生え、島の動物たちを巻き込んで起こす奇跡の物語です。270名近くの家族の皆さんや関係

者の皆さんにご参加いただきました。感動して目頭を押さえられる方もおり、素晴らしい内容の作品でした。また、上映終了後は、生涯学習課の皆さんによる「ヨーヨー釣り」が公民館前の広場で行われました。多くの方が真剣な眼差しで挑戦していました。

加速度的に進む高度情報化や少子高齢化、地域のつながりの希薄化など、急激な社会の変化に伴い、青少年を取り巻く環境は、厳しい状況におかれております。こうした中、私たちは青少年一人一人が持っている能力をしっかりと見つめ、伸ばし、そして心豊かに育てていくことが求められています。

引き続き、学校・家庭・地域社会の皆さんと相互に連携・協働を図りながら、充実した事業を展開していきたいと思っております。

なお、今年度も市民の皆様より、会費として、一戸当たり3

00円を頂き運営しております。誠にありがとうございます。今後とも、本会の事業に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



青少年育成稲敷市民会議とは？

青少年がのびのびと健やかに成長することは、すべての大人の願いです。青少年育成稲敷市民会議では、すべての子どもが立派な大人に成長するように、家庭や学校をはじめ、地域住民・企業など、人々の参加と協力を得て青少年の健やかな成長と非行防止のために、社会全体で取り組む事業を展開しています。

活動経費のほとんどは、市民の皆様の会費で運営されています。そして会費の集金につきましては、地域の区長さん、役員さんのお世話になっております。



令和6年度収支決算報告書

(単位：円)

歳入	項目	予算額	決算額	比較	摘要
	1.会費	2,340,000	2,381,300	41,300	会費(7,938戸)
	2.補助金	700,000	531,409	△168,591	市補助金(※市補助金の168,591円は市へ戻入)
	3.繰越金	29,567	29,567	0	前年度繰越金
	4.雑収入	433	490	57	預金利子等
	合計	3,070,000	2,942,766	△127,234	
歳出	項目	予算額	決算額	比較	摘要
	1.会議費	45,000	40,560	△4,440	会議時お茶代
	2.事務費	200,000	163,420	△36,580	通知郵送料、事務用品等
	3.事業費	2,515,000	2,519,496	4,496	
	(1) 広報費	1,500,000	1,454,784	△45,216	広報紙737,000円、市民会議チラシ308,000円、のぼり旗140,000円 ほか
	(2) 運営費	1,015,000	1,064,712	49,712	映画会運営費450,000円、主張大会作文集210,000円、主張大会撮影・DVD作成料129,000円 ほか
	4.旅費	300,000	219,290	△80,710	会議、事業活動、県研修会等 延べ178名分
	5.予備費	10,000	0	△10,000	
	合計	3,070,000	2,942,766	△127,234	
歳入合計		2,942,766円		歳出合計	2,942,766円
				差引残高	0円
				(差引残高なし)	

令和6年度は、7,938世帯からご支援をいただきました。ありがとうございました。

令和7年度収支予算書

(単位：円)

歳入	項目	本年度	前年度	比較	摘要
	1.会費	2,340,000	2,340,000	0	会費(7,800戸×300円)
	2.補助金	700,000	700,000	0	市補助金
	3.繰越金	0	29,567	△29,567	前年度繰越金
	4.雑収入	1,000	433	567	預金利子等
	合計	3,041,000	3,070,000	△29,000	
歳出	項目	本年度	前年度	比較	摘要
	1.会議費	45,000	45,000	0	会議時お茶代
	2.事務費	215,000	200,000	15,000	通知郵送料、事務用品等
	3.事業費	2,521,000	2,515,000	6,000	
	(1) 広報費	1,475,000	1,500,000	△25,000	広報紙740,000円、市民会議チラシ300,000円、のぼり旗140,000円 ほか
	(2) 運営費	1,046,000	1,015,000	31,000	映画会、主張大会運営費等
	4.旅費	250,000	300,000	△50,000	会議、事業活動、県研修会等
	5.予備費	10,000	10,000	0	
	合計	3,041,000	3,070,000	△29,000	
歳入合計		3,041,000円		歳出合計	3,041,000円
				差引残高	0円
				(差引残高なし)	

令和7年度 活動計画

映画会

7月12日(土)

江戸崎中央公民館

午前の部 午後の部 2部開催

「野生の島のロズ」を上映。



のぼり旗配布

10月

青少年の健全育成を目的とした啓発のぼり旗を作成し、市内園・小・中・高等学校へ配布します。



ボランティア清掃活動

令和8年2月7日(土)

江戸崎地区

子ども会育成連合会と合同でボランティア清掃活動を実施します。今年度は江戸崎地区の清掃活動を予定しています。



令和6年度 桜川地区

あいさつ運動

7月1・2・3日

11月5・6・7日

子どもたちや青少年をしっかりと見守りましょう。あいさつは毎日が活動日です。



桜川中学校

第19回稲敷市 青少年の主張大会

令和7年11月15日(土)

江戸崎中央公民館

市内9校の小・中・高校生の学校の代表が主張発表をします。青少年の純粋で熱い主張に耳を傾けてみませんか？



青少年健全育成 研修会等

青少年に対する理解を深めることを目的とし、青少年の心理を理解した接し方や具体的な対応等の助言などを学ぶため、茨城県や近隣地域で開催される研修会等へ参加しています。

広報紙「わかくさ」 の発行

市民会議の活動報告を掲載した広報紙を年2回発行しています。



青少年名作映画会

野生の島のロズ

令和7年7月12日（土） 江戸崎中央公民館



青少年育成福祉市民会議映画会

日 時 令和7年 7月12日（土）

上映時間 1回目 午前の部 10:00～11:45
2回目 午後の部 14:00～15:45

会 場 江戸崎中央公民館 大集會室

お問い合わせ 青少年育成福祉市民会議事務局（生活学習課内） TEL. 029-892-2000（内）

主催：青少年育成福祉市民会議 協賛：マクドナルド江戸崎パブリック

参加無料
申込不要

※会場定員500名

あらすじ

無人島に漂着した最新型アシスト・ロボットのロズは、キツネのチャッカリとオポッサムのピンクシッポの協力のもと、雁のひな鳥キラリを育てるうち、心が芽生えはじめる。ロズの優しさに触れ、怪物として彼女を拒絶していた動物たちも、次第に鳥の“家族”として受け入れていく。いつしか島はロズにとっての“家”となっていくのだった。渡り鳥として巣立っていくキラリを見送り、動物たちと共に厳しい冬を越えた頃、回収ロボットが彼女を探しにやってくる。果たして、築いてきた動物たちとの絆から引き裂かれようとするロズの運命は!? 島の存亡をかけたロズと動物たちの戦いが、いま始まろうとしていた――。

面白かった

野生の島のロズ

米口 龍我（9歳）

野生の島のロズを見てすごいと思ったことは、ロズは本当はロボットなのにロズが、キラリを育てている時に感情を持った事です。

ロズはキラリを育てるという使命感でどんなにボロボロになってもがんばりました。

キラリは体が小さく泳ぐ事も飛ぶ事も下手でしたが一生けん命練習をしました。

キラリが、空を飛ぶ練習をしている時には胸が熱くなりました。

ロズがキラリの飛ぶ練習につき合ってたキラリが、飛べるようになって時はすごく感動しました。

ロズとチャッカリが地上に出て冬の寒い中、色々な動物たちを助けたことも感動しました。

ヴォントラが野生の島に来て、ロズを持ち帰ってしゅう理しようとしてロズのきおくを消そうとする時に、むねがギュツとなりました。

この映画で、絆を学びました。

やさしいロズ

坂本 悠愛（10歳）

一番心に残った場面は、一番きびしい冬をむかえ、土の中にもぐっていても死んでしまう寒さにみかねた

ロズは、動物たちにさけられても、自分で作った家にみんなを入れてあげようとしたところです。自分が生きるのに精一杯な動物のためにロズは、「みんなで助け合うことが大切」ということを教えたかったんだと思います。

ロズは無人島で共に動物たちと生活することで、プログラムされた行動だけでなく、正しいことをしようとして、動物たちに歩みより、動物たちは、かいぶつだと思っていたけど、ロズのやさしさを知り、みんなと仲間となったところに、最初からロズをかいぶつと思っていたロズの性格を知ることが大切だと思いました。

キラリを飛ぶところまで育てて、愛情ややさしさいっぱい、だれにでも平等で、見習いたいと思いました。

ロズの本当の正体は？

幸田 悠来（10歳）

わたしは、野生の島のロズを見ました。

さいしよは、こわかったけど、どんなほかの動物となかよくなっていつてまるでロボットじゃなくて人間みたくなりました。

本当は、ロボットじゃなくて人間だったのかもしれないとおもいました。

私が思ったこと

古渡 ひなた（11歳）

私が野生の島のロズをみて思ったことは、全部で2つあります。

1つめは、ロズは最初はふうのロボットだったけれど、動物たちといっしょにくらしていくと、ふうのロボットとはけっこうちがうロボットにもかんじがあるみたいになりました。

2つめは、ぜんぜん飛べなかったキラリが飛べるようになったことが、すごいと思いました。いっしょにれんしゅうを手伝ってあげていたロズはやさしいお母さんみたいとも思いました。

最後に、ロズはロボットだけど動物と仲良くできたのがよかったと思います。とってもおもしろい映画だったのでまたみたいです。



ローズとキラリが 教えてくれたこと

木野内 夏帆（11歳）

私は、「野生の島のローズ」という映画を母と見ました。この映画は、最初はプログラム通りのことしかできず、島の動物たちからはカイクツあつかいされていたローズというアシストロボットが、がんの子どもキラリを育てていく中で心が芽生えるお話です。

私が心に残っているキラリとローズのそれぞれの場面は、全然飛べなかったキラリが他の動物たちの支えとあきらめない強い気持ちで、限界まで飛び練習を続け、無事に仲間たちと飛び立った場面でもねが熱くなりました。そして、ローズはひどい吹ぶぎの日に友人のチャッカリが止めるのも聞かずに、故障した体で島中の動物たちを助けに行ったところです。私だったら自分をぎせいにしないで、助けることはできないと思います。

私も、キラリやローズのようにあきらめない強い気持ちを持ち、目標に向かっていきたいです。

野生の島のローズを見て

後藤 光希（11歳）

わたしが野生の島のローズを見て、一番心に残ったところは、ローズが野生の動物たちと出会って、ロボッ

トのローズが感情を持つていくところ
です。

ローズは、人間の生活をより快適にするために開発されたロボットです。ある日、野生の島にたどり着く。そして、キラリという鳥の赤ちゃんを、チャッカリと育てる。そして、キラリは大きくなって、仲間に出会ったけど、仲間外れにされながら問題をのりこえていく。キラリは飛べるようになる、たびたびしてしまう。その後、野生の動物たちとであうが、ローズはヴォントラというロボットのところへいつてしまふという物語です。

これを見て、ロボットは、感情をもつロボットもいるんだなと思いました。

野生の島のローズの2をつくってほしいです。

このえいがは、とても感動しました。このようなえいがをまた江下さき中央公民館で行ってほしいです。

やさしさは 機械にも宿る

大野 塔吉（14歳）

映画「野生の島のローズ」は、ロボットのローズが自然の中で動物たちと心を通わせながらプログラム通りに仕事をこなすことよりも大事なことを知っていく物語です。最初は機械的だったローズが、動物たちとのふれあいや困難を乗り越える中で、ま

るで人間のような感情を持ち始める姿がとても印象的でした。特にローズが孤児のガンを育てる場面には感動しました。しかし、ガンが自分の家族を殺してしまったローズの過去を知り、ケンカをしてしまったのも最後までそのガンに自然の中で生きぬくために飛び方を教える姿がとてもかっこよかったです。自然の中で生きることの厳しさや命の大切さ、そして思いやりの力を学べる作品です。ふつつの機械でも心を持てるのなら、人間たちも戦争や争いごとを無くし、さらに平和な世の中に変えられるのではないかなと思いました。





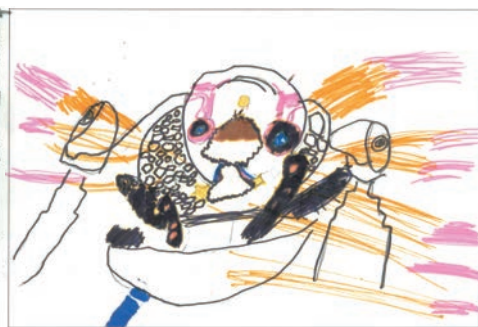
やまだ まや
山田 麻椰 (8歳)

ロズが作った家に、島にいる動物たち全員を、ふぶきの中、その家に入れてあげていて、ロズは、やさしいロボットということがわかりました。



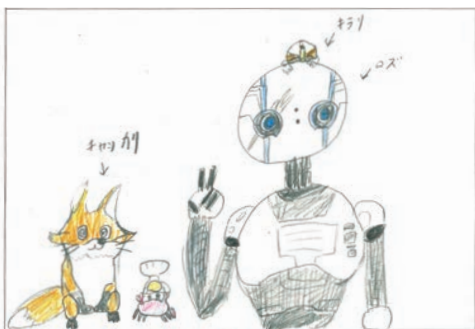
よねぐち むさし
米口 武蔵 (7歳)

ロボットのロズがキラリをがんばってそだてたり、しまのどうぶつたちをたすけたり、あきらめないところがよかったです。本当のかぞくみたいだった。ロボットなのにここをもったところでかんどうしました。



やまだ かんじ
山田 侃路 (7歳)

ロズがことりのたまごをまもっていてすごいと思いました。



こうだ ゆな
幸田 悠来 (10歳)

さいしょはこわかったけど、どんどん動物となかよくなってまるでロボットじゃなくて人間みたいだった。



さかもと ゆあ
坂本 悠愛 (10歳)

ロズの本当の子どもじゃなくても、本当の子どものようにやさしくキラリに接して、巣立っていくキラリを見送るところまで仕事をはたしてすごいし、やさしいと思った。



よしだ こう
吉田 煌 (9歳)

なかなか飛べないキラリと、けんかをしたけどロズは、キラリを秋まで飛べるようにいっしょにがんばったすがたに感動しました。



おおの とうきち
大野 塔吉 (14歳)

ロボットのプログラム以外の事を考えて行動する姿を見ると人間と共存する世界も近いのかな?と思った。



たかはし せいや
高橋 晟矢 (13歳)

ロズは最初は森の動物に嫌われていたけど、それでも助ける事で『絆』が深まることで、ロズのプログラムをこえ、動物たちと繋がる『心』の『絆』と『心』の大切さを学べた。



こうとう みつき
後藤 光希 (11歳)

冬がやってきて、動物たちがこおってるところを見て、ロズがこおってる動物たちを、全員助けて、野生の島の動物たちが、ロズを好きになっていくところが心に残りました。

安全にスマホを利用するために

●フィルタリングサービスを活用しましょう

お子さまが安全にインターネットを使い、保護者が安心して見守るための機能です。

フィルタリングによる制限は、段階的に調整できるので、お子さまの成長に合わせた見守りが可能です。また、アプリ単位で閲覧や使用の可否を個別に設定(カスタマイズ)することができます。



有害・違法情報を遮断できる!

アプリの利用を把握できる!

利用時間を管理できる!

●家庭のルールを作りましょう

インターネットを安全かつ適切に利用するために子どもの能力・発達および日常生活に見合ったインターネットの使い方を、ご家庭で考えてみましょう。

ご家庭のルールの具体例

- ・名前、顔写真、学校名などの個人情報は書き込まない
- ・友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない
- ・利用する時間や時間帯を決める
- ・パスワードは保護者が管理する
- ・トラブル時はすぐ保護者に相談する



※総務省HP「上手にネットと付き合おう! — 安心・安全なインターネット利用ガイド —」
茨城県青少年家庭課「上手にネットと付き合おう!」チラシを抜粋して作成。



篠田 啓子(広報部長)
和田 克典
糸賀 妙子
寺崎 久美子
白田 京子

とんぼうも我も木陰を探しをり
映画会の際には、たくさんのご参加ありがとうございました。

夏休みだというのに子どもたちの姿が見られない。子どもたちの遊ぶ公園も遊具が熱を帯びて使えずに室内での遊びがほとんどである。これからの夏の過ごし方は、従来のものとは違う室内でも運動不足にならないような過ごし方が重要になると思う。季節感がなくなりつつある今、いろいろ模索し、意識改革をしなければ温暖化はさらに進み、ますます生きにくい地球環境になっていくだろう。他人ごとにせず何が大事か何をやるべきかを考え実行し、未来ある子どもたちにより良い環境を残したいものだ。

「心頭を滅却すれば火もまた涼し」という言葉があるが今年の暑さには通用しないほど異常な日々が続いている。冷房を使ったことのない北海道のある方は、一カ月待ちのクーラーが届きやうと涼しく暮らせると話していた。

WAKAKUSA
2025.10 No.38

編集後記

